

くち

「市民参加による市民本位のまちづくり」…
その実現の第一歩は市政の情報をお伝え
することからはじまると考えます。

●市役所の"話す口"とは？

市民の目線で分かりやすい広報紙を

市民参加によるまちづくりをすすめるためには、マイナスの情報も含めて、市役所が言葉を発した上(＝的確な情報発信)で、市民のみなさんに市政へ関心をもっていただくことが大前提となります。現在、その発進手段としては、主に広報「さんようおのだ」とホームページの2つがあげられます。特に近年はホームページの充実に力を入れていますが、それでもすべての方がパソコンを扱えるとはいえない現状においては、市内の全家庭に月に2回お届けしている広報「さんようおのだ」の役目はまだまだ大きいものと考えています。

実際に編集をする際には、常に市民のみなさんが必要としている情報を、分かりやすい言葉で表現するように注意しています。読者である市民のみなさんの存在を常に念頭に置き、これからも紙面の充実を図っていきます。

無限の可能性のあるホームページ

ホームページの利点として、"いつでも どこでも だれとでも"つながることができる(＝意見交換できる)ところがあげられます。本市においては、合併とともに大幅な刷新を行いましたが、電子会議室など先端の試みを行っている他の自治体に比べると、まだまだ改良の余地があるようです。日々進歩する技術を取り入れることにより、無限の可能性のあることには違いありません。市政への市民参加をすすめていくための有効な手段として、今後、大いに活用していきます。



広報「さんようおのだ」

月2回(1日/15日)発行

市民生活に密着した情報を分かりやすくお伝えできるよう努めます。



ホームページ

<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp>

広報紙にない即時性を活かしていきます。今後、技術の進歩とともに大きな可能性のある媒体と考えています。

市民と市役所の距離感をなくし、気軽に意見交換できる環境づくりに努めます

【話す"口"担当】企画広報課広報係 ☎ 82-1133 FAX 83-9336
ki-kouhou@city.sanyo-onoda.lg.jp

「出前講座」はじめます

毎月、市長自らが各校区を訪問し開催している「対話の日」「市政説明会」も市の情報をお届けする貴重な場となっていますが、今回、市の個別の業務についての現状、課題について市の職員が直接出向いてお話をさせていただく「出前講座」もはじめることにしました。講座メニューは次ページ以降に一例を掲載していますが、これ以外のものでもご相談に応じて、対応させていただきます。自治会やPTAの集会など、お気軽にご利用ください。

講座メニューは次ページ
からをご覧ください

申し込み・お問い合わせについては
市民活動推進課までお気軽にどうぞ
☎ 82-1134 FAX 83-9336
katsudou@city.sanyo-onoda.lg.jp

「市の業務の内容を知りたい」「市の課題について教えてもらいたい」

…自治会、PTAの集会等に市の職員が出向いてお話しします